

朝夕はかなり冷え込みましたが、穏やかな小春日和の一日になりました。今年最後の句会も、皆さん元気で賑やかな句会になり有難うございました。出席者十三名、投句者四名、小学生四名の参加をいただきました。令和七年一月の句会は、

令和七年一月二十六日(日) 午前十時～十一時四十五分 集会所

題.. 「夢」

十二月の句会から、 題「お歳暮・年末いろいろ」

* お歳暮を贈るついでに自分にも

英代

(自分にもお歳暮いいですね。気持ちにも懐にも余裕が出来たという事でしょう。このちゃっかり感に共感者最多。)

* プレゼントサンタも悲鳴物価高

展行

(物価高に私たちの家計が苦しんでいる事を、サンタさんが代表して訴えてくれています。現在の苦境を、川柳ならではの軽みで詠んで頂きました。上手い。右の句に次いで多い共感句になりました。)

* お歳暮を貰ったつもりで蟹食べる

てるみ

(残念ながら、例年の蟹の歳暮を貰い損ねられたのですね。諦めきれず自前の蟹になりました。蟹の足食ってりや静かな妻になり と詠んだ句もあります。)

* 父母兄へ歳暮の花を手向けます

まさひろ

(盆暮れの墓参を守っていらっしやって偉い。歳暮の花と言う表現がユニーク。仲間入りが近くなるにつれて、ご先祖さんへの思いが、自分の反省を踏まえて深くなります。神仏の存在は信じませんけど。)

* ハムお酒油洗剤蟹がいい

早苗

(主婦の贈り物の品が調子よく並びました。健康には食い気が一番。自分の食べたい物を選んで正解。)

* 行き来する義理の歳暮が悩ましい

六郎

(だんだん少なくなつたものの、義理の歳暮交換は続きます。お互いに老いて嗜好も変わるし、品選びが悩ましい。)

* 年末の見て見ぬふりの綿ぼこり

まゆみ

(下五の綿ぼこりが言い得て妙の表現です。血液A型の人ならいざ知らず、私はB型ですので、見て見ぬふりは得意技。着想が時宜を得て膝ポンの句と受け取りました。これぞ川柳。)

* 又年を老いを背負って一歩ずつ

湧位子

(余生は老いを背負って生きる事なんですね。実感のある句を戴きました。上五の又をまたと仮名で表現してはと意見がありました。もっともなアドバイスで、読む目に優しく映ります。年を老いをの表現が気になりますので、また一年老いを重ねて一歩ずつ。)

* どうかしら通販おせち運だめし

しんこ

(冷凍の通販おせちもいけるそうよと話が出ました。何もかも通販で間に合う時代になりましたが、昔人間にとっては馴染めない思いです。上五のどうかしらで、運だめしの気持ちが推量されますので、もっと前向きの表現で下五は期待するにしたら。)

* 年の瀬のせわしさ横目高まくら

伸子

(昼あんどんではありません。普段の心がけが裏打ちされた高まくら。悠々たる余生を平易な言葉で詠み上げられました。このような心境でありたし。上手い句。)

* 歳暮来た嬉しさつかの間お隣りの

和博

(期待がぬか喜びになって残念でした。サザエさんのマンガになりそうな下町の場面です。今はうっかり女関も開けられない物騒な社会になりました。お隣りの歳暮の声に踊らされ。)

* 赤い羽根けな健けなげな子らの声ひびく

憲郎

(恒例の歳末助け合いの光景です。ざらりと並んだ子供たちの「お願いします」が凄かったそうです。戦後まもなく広まった福祉活動ですが、すっかり定着しました。このところ緑の羽根は見ませんね。)

* 年末に訃報入ってぼうぜんと

桐子

(親戚の方が沖縄のイベントに参加して、メダルを首に、にこやかに写真に収まった直後に亡くなられたとのこと。こんな事もあるんですね。一寸先は闇。)

* お歳暮の諏訪湖のりんご旬の味

千恵

(毎年お歳暮で長野よりりんごが届き、旬の味は美味さが違うとの付記あり。完熟で密たっぷり。)

* そうじして新しい年迎えたい

芳子

(身も心もさっぱりと。)

* 優しいネお歳暮届き仲なおり

雅子

(よかったよかった。優しいネと受け止める雅子さんの心が雪解けを促しました。)

* おせちをネ作ってみたい足の指

隆子

(奇抜な足の指の句を戴きました。先月の題「指」に用意した句の横滑りとのこと。この句が三・四十年前に社会問題を引き起こしたサリドマイド薬害を思い起こさせました。熊本市役所に務められた被害者のり子さんの生き様は、映画化されて大きな感動を呼びました。両腕を失われていたのが足の指がりっぱに手の指の役目をしていました。)

* 息子からお歳暮届く自分用(ちゃっかり抜け目なし。親の手も大助かり。) まゆみ

* 年かさねお歳暮送る義理も無く(しがらみは捨てて、食べたい物は自前が一番。) てるみ

* 物価高小さな箱にお歳暮と(主婦の知恵。量より気持ち。) 早苗

* 孫の歌はあーやく来い来いお年玉(キャッシュレスになったらどうするお年玉。) しんこ

* お歳暮に蜂みつ欲しいとは言えず(何気なく蜜は欠かせないとナゾかけましょう。) 桐子

* 古里の香り干し柿を待つ姉九十 湧位子

(言葉の欲張り過ぎで字余り。すつきりさせましょう。古里の干し柿を待つ姉卒寿。)

* おせち買い自動掃除機手抜き暮(手抜き尽くしの暮になり。) 展行

* 何かした何かしたかなもう師走(一年を振り返させる年の暮れ。) 和博

* 若き日は年末いろいろ今は暇(若い時はたっぷり遊び、今は好好爺こうこうや。) まさひろ

* お歳暮を何にするかと顔浮かべ(品選びに念が入ってます。) 英代

* 賀状より欠礼目立つ年齢としになり(欠礼承知の上で返信だけの賀状にします。) 憲郎

* もう師走今年一年すぎて行く(本当に一年が過ぎるのが早い事。名ごり惜しい) 芳子

* 一年のごぶさた分をお歳暮で(いい心がけ。気持ちはきつと通じます。) 雅子

* お歳暮が祝賀の熨斗で里帰り(面白い。たらい回しで里帰りするとは。) 隆子

* 来る年の健やか願い墓参り(優等生。あの世から旦那もオレの分までまだ気張れ。) 伸子

* ありがとう心のこもったお歳暮を 千恵

(たとえ義理でも、英代さんのように顔を浮かべて心を込めて。標語調の句になりましたが、大切な心がけです。締めめの句に戴きます。)

平和な世祈っています初日の出 良い年をお迎えてください